

# ウッドデザイン賞 2021

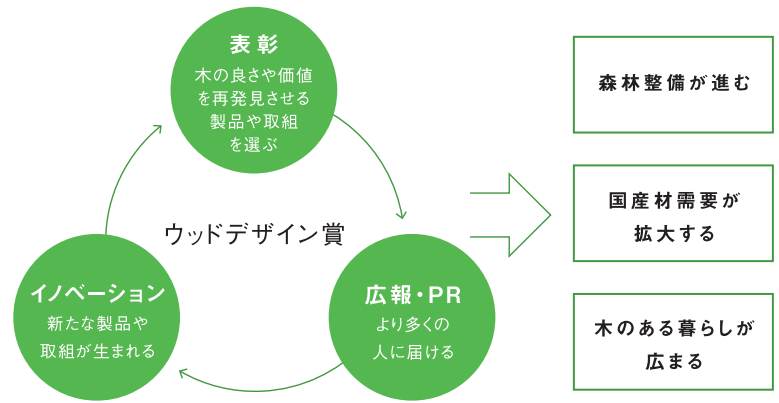
上位受賞作品のご紹介



JAPAN WOOD DESIGN  
AWARD 2021

## ウッドデザイン賞とは

ウッドデザイン賞は、「木」に関するあらゆるモノ・コトを対象に、暮らしを豊かにする、人を健やかにする、社会を豊かにするという3つの消費者視点から、優れた製品・取組等を表彰するものです。



## ウッドデザイン賞2021実施概要

- 主催:ウッドデザイン賞運営事務局((株)ユニバーサルデザイン総合研究所)
- 林野庁補助事業
- 募集期間:2021年6月21日(月)~7月30日(金)

### ●応募対象分野

① 建築・空間・建材・部材分野	店舗、施設、オフィス、住宅、建材、部材等
② 木製品分野	家具、インテリア、食器、日用品、雑貨、文具、遊具等
③ コミュニケーション分野	ワークショップ、プロモーション、人材育成、ビジネスモデル等
④ 技術・研究分野	技術、研究、試作品等

### ●表彰部門

#### ライフスタイル デザイン部門

木を使って  
暮らしの質を  
高めているもの

木を使うことで機能性や利便性を高めている、新しい領域で木の活用が提案されている、消費者に木のある豊かな暮らしを提案している、建築、空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

#### ハートフル デザイン部門

木を使って  
人の心を豊かにし、  
身体を健やかにしているもの

木を使うことで快適性を高めたり、五感や感性に働きかける、リラックス効果や健康増進効果がある、作り手や担い手のストーリー性を伝えている、建築、空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

#### ソーシャル デザイン部門

木を使って  
地域や社会を  
活性化しているもの

木を使うことで地域や森林の活性化に貢献している、持続可能な森林利用の仕組みを生み出している、木材利用の意味を啓発したり、人材育成をしている、建築、空間、木製品、コミュニケーション、技術・研究など。

### ●応募～発表・PRまでの主な流れ

応募受付期間(2021年6月21日~7月30日) ▶ 第一次審査(書類・資料による審査) ▶ 第二次審査(現物・映像を含む審査) ▶  
ウッドデザイン賞(入賞)結果通知・発表 10月14日 ▶ 最終審査 ▶ 最優秀賞、優秀賞、奨励賞・特別賞発表 11月24日 ▶  
表彰式12月8日(水) ▶ データベース、展示会等でのPR(予定)

### ●公式ウェブサイト

<https://www.wooddesign.jp/>

ウッドデザイン賞に関する最新のイベント・展示情報や次回開催のお知らせなどを随時、更新しています。

最新情報をお届けしますので、メールアドレス登録をお願いします。

### ●公式フェイスブック



ウッドデザイン賞

@wooddesignaward

受賞作品情報や審査員メッセージ、各種イベントなどのニュースをタイムリーにお届けします。

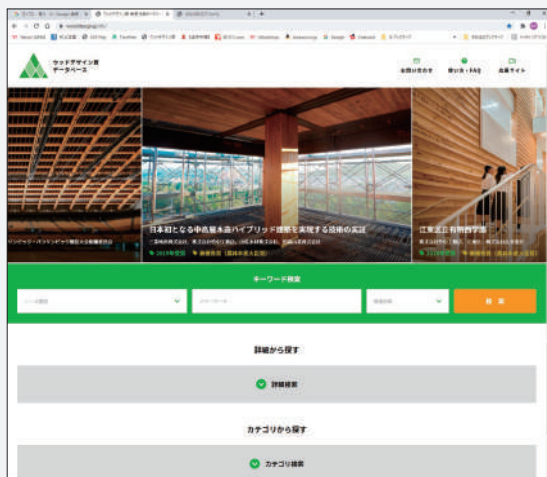


# ウッドデザイン賞データベース

https://www.wooddesign.jp/db/

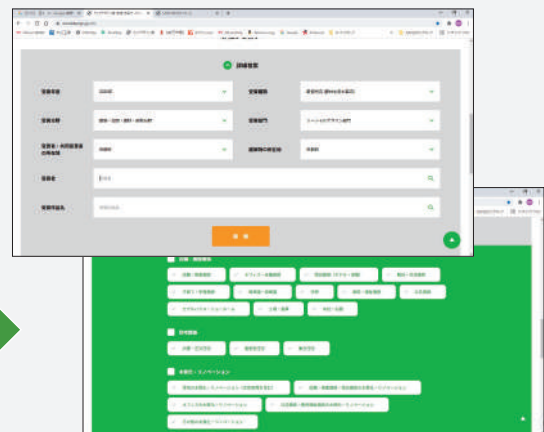
2015～2021までの全受賞作品を収録したデータベースです。各項目(年度、分野、部門、サブカテゴリ等)やキーワード検索(例:キーワード検索:木造建築物・木質空間の事例を探したい)などの機能を持っています。スマートフォンでの閲覧も見やすいインターフェイスで、作品詳細画面では画像のほか、概要、仕様、連絡先入手先などの情報を閲覧できます。是非、ウッドデザイン賞作品の魅力に触れてください。

## STEP 1



検索トップ画面

## STEP 2



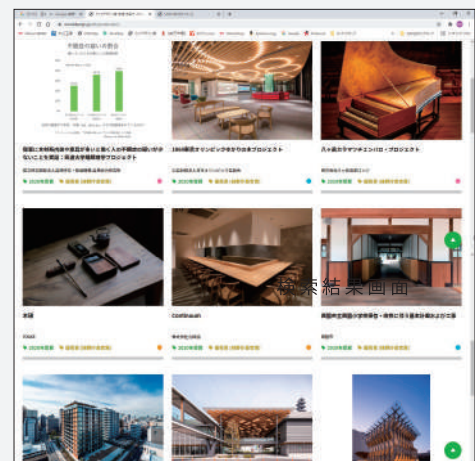
年度、分野、部門や所在地、賞別、サブカテゴリや知りたいポイントから探せるニーズ検索など多様な項目で作品の検索が可能

## STEP 4



スマートフォンでの閲覧にも最適化

## STEP 3



各作品の詳細画面では概要、評価ポイント、仕様や連絡先、入手先など(分野によって異なります)のほか、関連するサイトへのリンクなどが閲覧できる



審査委員長 赤池 学

上位賞に見られるように、多様なステークホルダーの協働による、木材・森林利用の新たな価値創出の流れが台頭してきた。地域の資源や文化を活かした良質な木造・木質空間による“おもてなしの場”のあり方を、生活者目線、消費者視点で構想し、新たな市場拡大と持続可能な社会構築に向けて実装して欲しい。

★分野長

建築・空間・建材・部材分野

隈研吾★



コロナ禍を経験し、人々の価値観が変わって木の魅力や機能がますます求められている。ウッドデザイン賞が目指す、木を使って新たな暮らしの価値や社会のあり方を提示していく、というコンセプトが今こそ活かされるのである。

腰原幹雄



新たな技術を設計に活かした事例が増え、レベルが上がった。新たな組み合わせが新たな価値を生み、いかに尖った提案、一歩先の発想をしているかが鍵になる。地方ごとに材や技術を使ってユニークなものをつくれれば都市にも伝播するはずだ。

鈴木恵千代



生活が変わる、街が変わる、都市が変わることがウッドデザインの本質だ。木の良さに時代が気づき始めているのは、設計やクリエイターの意識の変化によるところが大きい。賞の変遷を見ていると木を使った街並みの良さに改めて気づくのである。

手塚由比



中大規模の建築物に木を使って、優れたデザインの作品が増えてきてレベルが上がっている。一方で戸建て住宅では、特に秀でたポイントがあるかどうかを見ている。建築によって人の生活が変わり、新しいことが起こるようなデザインを心掛けたい。

木製品分野

益田文和★



本来、我々の持っている重要な資源である木を活用する意味を改めて考えるべき時期に来ている。かつて身の回りの素材はすべて木だったが今は違う。今一度、木の需要と市場をつくり、流通を整え、技術を磨くことで新しい木の時代をつくらなければならない。

島村卓実



木は1本の中でも部材によって個性がある。その良さを引き出してデザインすることに面白さがある。誰がどこでどう使う製品であるか、をしっかりと考えてつくっていくことが大切だ。今の時代にマッチし、かつ木を感じるものを求めている。

高橋正実



時代に合わせた、木の使い方のトランスフォーメーション(変換)が見られた回だった。デザインを介在させることで、人と自然をつなぐきっかけになることが本賞の意味である。日本ならではの木の経験や感覚を世界に広めていきたい。

矢島里佳



圧倒的に美しいプロダクトとデザインにもう一工夫欲しいものが混在した年だった。仕組みと意匠の美しさの両立が大切だ。木を使う意味がそこに存在するか、を突き詰めていく必要がある。木の持つ可能性はまだまだ開拓できると思う。

コミュニケーション分野

山崎亮★



ウッドデザイン賞をひとりで言う、木はすごい、と思わせているかどうか。仕組みや商品、伝え方を通じて、木の魅力を存分に伝えているかが重要だ。川上から川下がいかに連携・協働するかを大切にしたい。

戸村亜紀



審査員の評価がいいね、という思いが一致する時は思わず笑みが出る。いかに楽しさを伝えるか、を見るのが本分野で開拓の手伝いができる部分だろう。応募者の皆さんにも賞のアイデアを届けて欲しいと思う。

古田秘馬



消費者と生産者の区別がなくなる中で、協働していること、多様な人々が自分事化するような取組であることが重要だ。木材を使いながら健康につながる、学びにつながる、人に優しいといった多付加価値を生んでいるかが問われている。

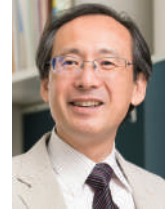
若杉浩一



幅広い応募があり面白い審査であった。社会に楽しく伝わっているか、美しいか、愛おしいか、人々の共感を得ているかがウッド「デザイン」としてのポイントだと思う。理解と共感を得るためにはわかりやすく伝え、相互の対話が必要だ。

技術・研究分野

伊香賀俊治★



2050年カーボンニュートラルに日本は舵を切った。今回の作品の中にもその達成を助ける技術開発があり印象的だった。建築家は自由なデザインを追い求める手段として素材そのものを木に変える新たな道が開けてきた。

相茶正彦



本分野でも、多様なものとの複合化、異業種との連携に期待したい。従来と同じ考え方は違う視点をもった方々の参加がブレクスルーには必要である。研究は持続性ある研究プログラムを持って欲しい。

青木謙治



身近にあって手に触れ、目に見える家具や造作の新しい木材の使い方を自由な発想でチャレンジして欲しい。試作品は、調達や生産、流通を意識して提案すると、改善点や商品化までの道筋が見えてくるはずだ。

恒次祐子



技術・研究分野は今までどういうところが問題で、それをどう技術で改善したか、が明確であることが望ましい。これまでの研究を改善したり、実用に近づけたらといった第2、第3段階の応募も期待したい。



## 最優秀賞（農林水産大臣賞）

建築・空間分野の作品名の横の（ ）は所在地、団体名横の（ ）は各団体の所在地です。  
本文は審査会の評価コメントに加筆したものです。



ソーシャルデザイン部門 建築・空間分野

### URASHIMA VILLAGE (香川県)

株式会社金丸工務店 (香川県)、瀬戸内ビレッジ株式会社 (香川県)

讃岐の山々と瀬戸内海が共存する全3棟の一棟貸し宿泊施設。唯一無二の絶景を生かした設計、どこにいても瀬戸内ビューを堪能。施設内各所に地域産の木材を使用し、利用者や地域の活性をもたらしている。地域の11の事業者の連携による、地域の資源と文化を活かした宿泊施設であり、多様なステークホルダーの参画、観光やワーケーションとの連動、環境への配慮などあらゆる点で優れた作品であり、最優秀賞にふさわしい。施設の各所に浦島伝説にちなんだ亀甲デザインを効果的に使いつつ、瀬戸内沿岸部に古くから使われる焼杉文化を取り入れるなど、ここを訪れた人々の記憶に残る魅力とストーリー性を兼ね備えた作品である。





## 優秀賞(林野庁長官賞)



ライフスタイルデザイン部門 建築・空間分野

### タクマビル新館(研修センター)(兵庫県)

(株)タクマ(兵庫県)、(株)竹中工務店(大阪府)、(株)銘建工業(岡山県)、(株)ストローク(富山県)

ボイラー・プラントメーカーの本社研修・事務所。内と外から木の意匠を見せる、先導的なオフィスの木造・木質化を「見せる」デザインであり、内部からは構造体としての木を感じさせることで温かみをもたらす、柔らかかつ洗練された建築である。木に囲まれつつ、光や風の取り込み方など、ワーカーにとっての快適性を追求している点も高く評価できる。



ライフスタイルデザイン部門 建築・空間分野

### TRIAxis須磨海岸(兵庫県)

ICADA(東京都)、(株)linkworks(兵庫県)、(株)黒土建設(大阪府)、荒木美香(兵庫県)

「子どもと楽しむ海の家」をコンセプトに掲げ、海の家という時限的な中規模施設に木造建築の良さを訴求した、意欲的な試みである点を評価した。屋根に使用したパネル材はCLTの製造過程で生じる巾はぎ集成板を使っており、それが軽やかで自然な風合いを醸し出している。地域のシーリゾート建築の良質なロールモデルとして期待できる。



ライフスタイルデザイン部門 木製品分野

### 木製の冷凍ご飯容器「COBITSU」

(有)大橋量器(岐阜県)、南地秀哉(千葉県)

ご飯を入れて冷凍し、電子レンジで温めると、まるで炊きたてのように美味しく冷凍ご飯がよみがえる。家時間の長くなる昨今において、おいしく温かいご飯を食べたいというニーズにヒノキの機能性を使って応えた、まさにライフスタイル提案型の作品である。木杓の製造技術を活かし、食器のデザインとしても秀逸な作品で、温めてそのまま食卓へ出せる利便性も備える。木のある豊かな食卓を彩るアイテムとして高く評価した。

## 奨励賞(審査委員長賞)



ライフスタイルデザイン部門 建材・部材分野

### 組子「麻の葉ちらし」シリーズ

(株)タニハタ(富山県)

春夏秋冬、花鳥風月にみる日本の美と自然がテーマの組子。匠の伝統技術を活かした、大断面の組子細工が美しい。18に及ぶデザインのバリエーションで、空間デザインの幅を広げてくれる。海外にも輸出できそうな日本の文化と技の表現が卓越している。



ライフスタイルデザイン部門 建材・部材分野

### Cryptomeria (Counter)

(株)九銘協(福岡県)

柱目の幅接ぎと研ぎ出し加工(浮造り)を施した部材。浮造り加工のデザインを活かし、耐久性と意匠性を両立させたシンプルだが機能的な提案である。硬度向上によって杉材利用の広がりが見込まれ、飲食店やオフィスのカウンターなどにもニーズがありそうである。



ライフスタイルデザイン部門 木製品分野

### patol stool(国産材シリーズ)

平山日用品店(京都府)

「紐蝶番」を用いた折り畳みスツール。アウトドア、キャンプなどの時代のニーズに応えるシンプルだが機能的な作品。組紐と木材の組み合わせで、たたむとフラットになり、軽さもあるので、可搬性に優れている。



ハートフルデザイン部門 コミュニケーション分野

### 令和2年度 大阪市立中央図書館地下1階左閲覧室一部レイアウト改修

大阪府森林組合(大阪府)、graf(有)デコラティブモードナンバーズリー(大阪府)、飛騨産業(株)(岐阜県)

大阪市立中央図書館内の空間木質化。森林組合、木材加工、デザイン・設計の3者が協働した、閲覧室の木質化のデザインと普及開発のワークショップを組み合わせ、社会提案性のある活動である。森林環境譲与税の活用による「地域の森の使い方」の自分事化の好例である。



ソーシャルデザイン部門 建築・空間分野

### メルディア高機能木材研究所(福岡県)

公立大学法人北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科福田研究室(福岡県)、(株)三栄建築設計(東京都)、(株)ジオクラスター(福岡県)

環境性能の面でも、デザイン的にも、薄板CLTの大胆な活用方法を見せた意欲的な試みである。壁や天井を木材の現しとしたことで研究施設にありがちな無機質な空間となることを避け、居住性を高めている点も評価したい。



ソーシャルデザイン部門 建築・空間分野

### 神水公衆浴場(熊本県)

ワークヴィジョンズ(株)(東京都)、(株)黒岩構造設計事務所(熊本県)、竹味佑人建築設計室(東京都)

1階銭湯は家の風呂でもあり地域に開いた銭湯でもある。災害復興の面から個人住宅の風呂をコミュニティに開いたユニークな取組である。木に包まれた空間では阿蘇の水の湯に浸かり、コミュニティの拠り所となり、銭湯という交流空間の役割を現代に蘇らせた。





ハートフルデザイン部門 建築・空間分野

## ザロイヤルパークキャンパス 札幌大通公園(北海道)

三菱地所(株)(東京都)、(株)三菱地所設計(東京都)、MEC Industry(株)(鹿児島県)、(株)ロイヤルパークホテルズアンドリゾーツ(東京都)

札幌都心部の象徴であるさっぽろテレビ塔至近に建築されたホテル。床材にトドマツ、外装のルーバーにタモなど、北海道産材の積極活用しながら、木質感を感じられる空間づくりに新たな技術を採用して、宿泊客にリラックスした時間を提供してくれるホテルのウッドデザインの良例と言える。上層3階を木造にすることで建築物としての重量を抑えるなど木を活かすメリットが考え抜かれている。

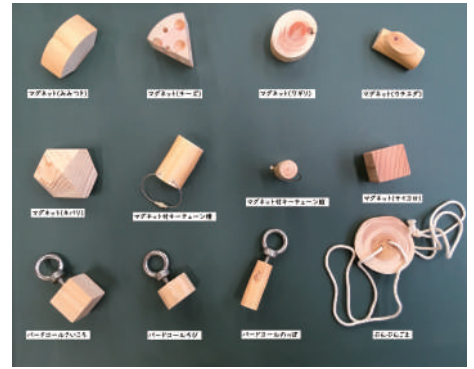


ハートフルデザイン部門 建築・空間分野

## KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE(岐阜県)

各務原学びの森(株)(岐阜県)、(株)井上工務店(岐阜県)、飛騨五木(株)(岐阜県)、(株)TAB(岐阜県)

Park-PFI制度を活用し生まれた子どもたちのための全天候型屋内施設。子どもが自由かつ安全に遊べる木製遊具と建築が一体化し、周辺の都市公園との親和性もある開放的で木の魅力溢れる空間である。子どもの感性を高め、身体性を伴う、質の高い木造施設だ。寒い時期や雨天の時でも、思い切り子どもが身体を動かしたくなるデザインの工夫が随所に読み取れる点が良い。



ハートフルデザイン部門 コミュニケーション分野

## 山男のガチャ

(株)東京チェーンソーズ(東京都)

東京檜原村の山で伐採した木の未利用部位を加工して作った雑貨等が入っている玩具販売器。土産品としての木製雑貨は実に多く存在するが、単体ではなかなか売れない。玩具のガチャガチャをヒントに、木製プロダクトを製作、販売するというユニークなアプローチがとてもよく、何が出るかわからない楽しみもある。すでに多摩エリア等で30カ所以上に設置されており、山側への利益還元の新試みとして評価した。



ライフスタイルデザイン部門 木製品分野

## BAUM

(株)資生堂(東京都)、カリモク家具(株)(愛知県)

「樹木との共生」をテーマに掲げるスキン&マインドケア製品。ナチュラルかつサステナブルな素材への志向はさらに高まっている。木質系のコスメキットはそのひとつとして今後も広がりが見込める。パッケージングとしてのデザイン性も高く、繰り返し使える点もよい。



ライフスタイルデザイン部門 木製品分野

## TANZAKU Lamp

ストーリーオ(株)(新潟県)

ブナの無垢材を曲げた充電式ランプ。木目と曲線が生み出す独特の意匠は料理と一緒に運ばれてくると一層、美しさを感じさせるだろう。充電式のため、居室においても周辺がすっきりできる点もよい。



ハートフルデザイン部門 建築・空間分野

## 津山信用金庫勝山支店(岡山県)

津山信用金庫(岡山県)、(株)ofa(兵庫県)、三和建設(株)(岡山県)、(有)桃李舎(大阪府)、(株)アイ設計(東京都)、銘建工業(株)(岡山県)

地域での木材活用を訴求した信用金庫新支店の建設。木の持つ優しさや見える内装が、コミュニティへの親和性をもたらししている。コンパクトで我が家を思わせるような、気軽に通える地域に開かれた金融機関の施設として独創性がある。



ソーシャルデザイン部門 建築・空間分野

## cup of tea ensemble(岐阜県)

cup of tea ensemble(岐阜県)、(株)KRAFT ARCHITECTS(東京都)、H inc.(東京都)、飛騨産業(株)(岐阜県)、(株)田中工務店(岐阜県)、柿BUSHI(岐阜県)

全8部屋の小さな宿。意匠性にこだわった美しい木の宿泊施設で、地域景観に馴染みつつ、新しさも感じさせる。多様な樹種を使い尽くすというコンセプトのもと、デザインにこだわった宿は、旅の印象を深めてくれる空間になるだろう。



ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野

## ウッドアクション2021 つむつむ選手権

日本の森バイオマスネットワーク(宮城県)

楽しみながら木や森、環境を考えるゲーム。木片を積み上げるというシンプルな遊びだが、人々の楽しむ様子が手に取るようにわかる良質な活動である。木で楽しむことをわかりやすく形にしている。1分という制限が余計に集中力を増すため、大人も夢中になるだろう。



ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野

## すべての人と森をつなげるmorinos

岐阜県立森林文化アカデミー(岐阜県)

林業、教育、地域、音楽など、多様な切り口で森での体験を提供する総合拠点。木を暮らしに取り入れたいと思うきっかけは、森を知り、感じることから始まる。プログラムにあるセルフビルドは参加者が場づくりに加わり、家や学校、職場での木づかいへとつながる契機となる。



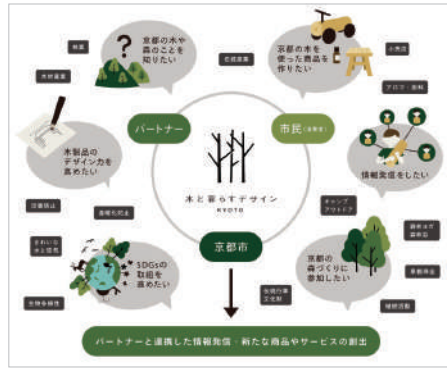


ソーシャルデザイン部門 建築・空間分野

浜松料理 娯座樓 (静岡県)

(株)ドルフィンキッズプロダクション(静岡県)、しましま設計室(株)(静岡県)、(株)鈴三材木店(静岡県)、(有)石牧建築(静岡県)

静岡県浜松市に在る地元食材を使った料理を提供する飲食店。食と木材の地域資源活用と地域の魅力発信、地域の事業者の協働によるウッドデザイン開発の良例である。大径木の効果的な活用を含めた空間デザインのクオリティの高さも評価できる。地域材活用を川下と川上の協業によって効率化、高付加価値化させるシンボルモデルとも言える提案である。



ソーシャルデザイン部門 コミュニケーション分野

木と暮らすデザインKYOTO

京都市(京都府)、(株)サノワタルデザイン事務所(京都府)

SDGs時代に向けて林業・木材産業の枠組みを超え、幅広い企業や大学等を繋ぐプラットフォームを構築。つなぐ、つかう、つたえるの3つのミッションから、現代の暮らしにマッチする木の使い方をデザイン、発信するプラットフォームを構築した、自治体によるビジネスモデル開発型の提案として評価した。多様な事業者やデザイナーと協働しクオリティの高いアウトプットを生み出している。



ソーシャルデザイン部門 技術・研究分野

木造大型パネルによる製造・物流・施工の合理化技術

ウッドステーション(株)(千葉県)、大型パネル生産パートナー会(千葉県)

物件ごとに異なる木造大型パネルの生産効率化のため、情報処理、工場生産、現場生産を一体的に実行する新たなビジネスモデルである。地域材を活用した大型パネル生産と施工も可能で、施工の際の労働力削減で現場の負担も減らすことができる、木造化促進のための社会提案性ある取組である。



ハートフルデザイン部門 建築・空間分野

アイエスジー株式会社つくば支店(茨城県)

アイエスジー(株)(千葉県)、(有)川久保智康建築設計事務所(東京都)、(株)DAISHU(千葉県)

エネルギー会社の新支店計画。エネルギーを扱う企業としての地域での役割を担いつつ、木質感の素晴らしさを巧みにデザインして、働き手や来訪客にも落ち着いた雰囲気を提供している。事務スペースとして使う、LVL架構の無柱空間は開放的で心地よい。

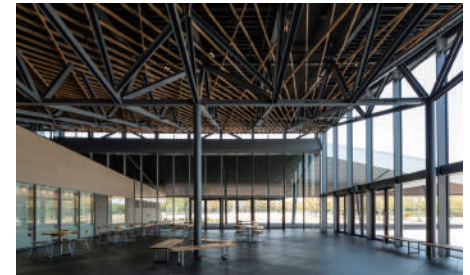


ハートフルデザイン部門 建築・空間分野

AGRI CARE GARDENかすみがうら(茨城県)

(株)里山建築研究所(茨城県)、(株)AGRI CARE(茨城県)、医療法人AGRIE(茨城県)、(株)三共建設(茨城県)、(株)大崎材木店(茨城県)、(株)ダイテック(福島県)

48室の有料老人ホーム、19床の診療所とリハビリ・デイケアサービスを併設する福祉施設。施設に必要な機能として、木材の調湿性や保温性、香りや安全性を十分に活かした空間設計に好感が持てる。高齢者や障がい者の健康への配慮とともに、周辺の自然環境との調和もよい。



ハートフルデザイン部門 建築・空間分野

四日市市中央緑地スポーツ施設(三重県)

(株)久米設計(東京都)、四日市市(三重県)、大成建設(株)(東京都)、(株)中村組(三重県)、(株)シェルター(山形県)

公園全域の再整備計画。木格子が円巻のフォーラムは外光を取り入れることで、あたかも近隣の森を歩いているかのような印象を受ける。スポーツ施設としての動線や機能を満たしながら、木を使ったおもてなしの心に満ちた環境をつくりだしている。

ウッドデザイン賞2021結果

- 総応募数 433点
- 受賞数 191点
- 最優秀賞 1点 ● 優秀賞 9点 ● 奨励賞 15点

Webサイトより全ての受賞作品についてご覧いただけます。

<http://www.wooddesign.jp/>

